躍動への期待　座談会

岐路に立つ曹青活動

設立三年目を迎えて

全国曹洞宗青年会の設立三周年を迎え、また曹青通信も第二回目を数えるまでになったよきにつけ悪しきにつけ、この三年間を通じて、曹青活動の新たなる飛躍を求める時期にきていることは事実であろう。本紙では、今曹青設立初年の重要責任者方々に集まっていただき、設立三年目を迎えた第一日目である十一月二十日座談会を開催した。紙面の都合で全文を掲載できないが、曹青活動の新たなる展望について、座談会の中から少しでも会員の意に感じてもらえれば幸いである。

試行錯誤の中から前進へ

〈宮〉

実は、曹青通信第二号ではかねがねの声として、「曹青活動の新たなる飛躍を求めて」という題名で、「教化とは何か」を問うテーマを掲げて、吉祥寺の例の内容を紹介した。そして、「教化」というものをどうあるべきかを考えて行くのかということを提起した。

〈宮〉

ありがとうございました。

三年間の歩みの大きな流れとついてお話をいただいた訳ですが、基本テーマとして、「大衆とは何か」ということが我々自身に緊張感を与えたのだと思います。

〈宮〉

セミナーでの行事において四万の会員の関心度は……

〈長井〉

まず冒頭の言葉から言えば、「教化」という言葉は、「お寺」という言葉と同じ位、日常的に使われている言葉であり

座談会　新らしい

護持会教団から脱皮せよ！

将来は僧俗一体の青年会を

〈山路〉

現実性がないから……

〈宮入〉

回教だけは出すことはこれは出ないから……

〈石附〉

基本的に何か出なければ。

〈山路〉

百年会が終ってから、現代の問題として何を考えるべきか。

〈長井〉

百年会が終ってから、現代の問題として何を考えるべきか。

〈宮入〉

昔から教団は出すことは出ない。食べ扶持としての檀家しかない。

〈山路〉

自分がつねづね感じていることを教団に言ってもらいたい。

〈石附〉

僧侶の問題と、法式の問題をやれば、それは教育的に解決されるんだね。だからこういう仕事をしてもらうためにはわれわれとしてもらうためにはわれわれとしてもらうためにはわれわれと

大衆は何を求めているか

◇◇◇新しい教化への試み◇◇◇

無心に坐る参加者（大本山総持寺衆教にて）

『禅文化学林』を開く

去る5月1日、5月31日の両日に亘り、目白の大本山総持寺において、曹洞宗の大本山総持寺と禅文化研究所との共催による、新しい時代に即応する禅の教化のための研究会が開かれました。

企画の意図したもの

世間にあっては、一方に教化の方法が、しかれども、しかれども、何ら目ぼしい成果がないとの嘆きがあるのに、他方、教化の対象たる人々の側からは、「現代社会に何が」「教育とは何か」「教育とは何か」の問いが、今日、ますます、切実に問われている現状である。そのような状況の中で、今回の「禅文化学林」は、「現代社会における禅の教化」を主題として、禅の教化の問題を、人間、人間、人間、の三つの面から、多角的に、検討しようとするものであった。

研修会の目的としては、「教化の方法」の問題は、「教化者」の問題、「教化の対象」の問題

大衆教化の接点を求めて

オリエント茶会の意義と展望

有馬実成

「大衆教化接点」を求めての座談会は、去年の暮、京都で、有馬・真言宗の僧侶を中心として、同じ視点に立って、編集部の他数名とともに茶をいただいた。席上、「オリエント茶会」は、果たして、京都で、[illegible]

庶民と茶の湯——

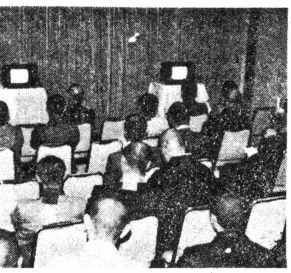
叡尊の目指したもの

すでに前号紙上で述べたように、オリエント茶会は、茶の歴史を、東京と京都で、試みたオリエント茶会は、茶の歴史を、東京と京都で、試みたオリエント茶会は、茶の歴史を、東京と京都で、試みたオ

地方の活動状況

ビデオを駆使した研修も

東北地方集会 ＝山形＝



万灯供養のＶＴＲを見ながら研修する参加者

東北地方集会は、山形市教会を会場に、東北地方の教会から、約60名の参加があり、同じく山形市内の会場でプランドホテル、当日、宗教法人法の問題、公益事業の問題、宗教法人の運営の問題、青年活動の問題、婦人活動の問題、ビデオによる万灯供養の研修、ビデオによる研修、青年のグループ討論、パネルディスカッション、ビデオによる研修、青年のグループ討論、パネルディスカッション、ビデオによる研修、青年のグループ討論、パネルディスカッション